

英語科目的履修モデル

8単位を英語科目のみで履修する場合の推奨例(楽理科・音楽環境創造科を除く)

英語の履修パターンはいくつも考えられます。ただし、レベルを段階的に履修することが求められるため、以下の表において上から順番に、半期に 1 単位ずつ履修していくことを推奨します。ただし、卒業までに必要単位を早めに取得したいなど、それぞれの事情がある場合は、以下に従う必要はありません。(たとえば、「英語上級」を一度に複数履修することは可能です。) その場合は、各自が履修規則に従っているか確認してください。履修便覧を熟読し、自分に合った履修計画を立てることが重要です。

パターン①：主に英語に自信がない皆さんへ

科目名	単位
英語初級 I	1
英語初級 II	1
英語中級 I	1
英語中級 II	1
英語上級 I	1
英語上級 II	1
英語上級 I (既修の上級 I とは異なるクラス a～d でなければならぬ)	1
英語上級 II (既修の上級 II とは異なるクラス a～d でなければならぬ)	1

パターン②

科目名	単位
英語中級 I	1
英語中級 II	1
英語上級 I	1
英語上級 II	1
英語上級 I (既修の上級 I とは異なるクラス a～d でなければならぬ)	1
英語上級 II (既修の上級 II とは異なるクラス a～d でなければならぬ)	1
英語演習 I	1
英語演習 II	1

パターン③

科目名	単位
英語中級 I	1
英語中級 II	1
英語上級 I	1
英語上級 II	1
英語演習 I	1
英語演習 II	1
英語演習 I	1
英語演習 II	1

※「英語中級 I・II」、「英語上級 I・II」、「英語演習 I・II」については、「言語・音声トレーニングセンター開設科目」での修得も可能。ただし、振り替えられる単位の上限が決まっているので、『履修便覧』16 頁の表を必ず確認すること。

英語履修のQ & A

Q1: 「英語初級Ⅰ」と「英語初級Ⅱ」の同時履修は可能でしょうか。

A: できません。初級と中級は、Ⅰ→Ⅱの順番に履修し、ⅠとⅡの両方を修得した上で卒業要件単位として認められます。従って、中級も同様に、「英語中級Ⅰ」と「英語中級Ⅱ」の同時履修はできません。

Q2: 「英語初級Ⅰ」「英語初級Ⅱ」を、年度をまたいで履修したいのですが。。。

(例:1年次の前期に「英語初級Ⅰ」を履修、2年次の後期に「英語初級Ⅱ」を履修)

A: 問題ありません。Ⅰ→Ⅱの順番であれば、必ずしも連続して履修しなくてもいいです。
ただし、4年間の履修計画はあらかじめきっちり立てておいてください。

Q3: 「英語初級Ⅰa」「英語初級Ⅱb」というように、それぞれ別の先生のクラスを履修してもいいのですか。

A: OK。Ⅰ→Ⅱの順番であれば、アルファベットに関係なく別のクラスでも履修できます。

Q4: 「英語上級Ⅱ」→「英語上級Ⅰ」の順で履修することはできますか。

A: これはできます。上級クラスは、Ⅰ、Ⅱの連続性がないので、履修の順番は問いません。
また、「Ⅰ・Ⅱの両方」ではなく、「Ⅰを2クラス」、「Ⅱを2クラス」履修してもいいです。

Q5: 「英語中級」の単位を持っていません。「英語上級」は履修できますか。

A: 履修できません。(ただし、楽理科と音楽環境創造科はこれに当てはまりません。)

言語芸術開設科目の上級は、中級の単位を修得済みでないと履修できません。履修登録しても、最終的には削除されてしまいます。また、中級の単位を修得していない場合、中級と上級の同時履修もできません。

Q6: 「英語上級」の単位を持っていないが、「英語演習」を履修することはできますか。

A: 担当教員の許可を得た場合のみ、履修できます。演習は、文学や評論などを読む力が必要なため、上級の単位を修得済みであることが望ましい科目ですが、担当教員がOKと言えば履修してください。チャレンジも必要です！

Q7: 言語芸術開設の「英語中級」をとりながら、音トレ開設の「英語会話(中級)」をとり、1年次に4単位とることはできますか。

A: 以下のような履修の組み合わせは可能です。

「英語中級Ⅰ」「英語中級Ⅱ」(各1単位)

「英語会話(中級)Ⅰ」「英語会話(中級)Ⅱ」(各1単位)

ただし、学部の卒業要件単位として認められる単位は各1単位までです！！

つまり、上記の4単位修得しても、卒業にはこのうち2単位までしか認められません。

言語芸術開設の科目と音トレ開設の科目を組み合わせて履修する場合は、細かな条件があります。各自よく注意し、不明なことがあれば言語芸術研究室に相談してください。

2020～2022年度に寄せられた質問とその答え(Q&A)を紹介します！

Q1: 「英語初級」と「英語中級」のレベルの違いを教えてください。

A: 「英語初級Ⅰ」は初步的な文法の確認に始まり、簡単な読解等を行います。

「英語中級Ⅰ」は再度基礎的な文法を確認しながら、クラスによっては仮定法などの難しい文法も習得します。また、細かい内容は開講する教員により異なります。

Q2: 「英語演習Ⅰa」と「英語演習Ⅰb」を同時履修して単位を取ることは可能でしょうか。

A: 同時履修が可能です。計8単位までならば単位修得が可能です。

Q3: 1年次で「英語中級」を履修し、2年次で「英語初級」を履修することは可能でしょうか。単位としても認められますか。

A: 可能です。単位としても認められます。ただし、レベルを段階的に履修することが推奨されています。

Q4: 2年次前期までに「英語中級Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得した場合でも、2年次のうちには「英語上級」を履修することはできないのでしょうか。

A: 「英語中級Ⅰ・Ⅱ」の単位が修得できていれば、2年次後期に「英語上級」を履修することは可能です。

Q5: 「英語初級Ⅱ」の単位を落としてしまったのですが、前期に再履修は可能でしょうか。

A: 「英語初級Ⅱ」を前期に履修することは可能です。前期に開講されている「英語初級Ⅱ」のクラスを履修してください。また、「英語初級」はⅠとⅡの両方を履修して卒業要件単位とされるので、「Ⅰ」を修得後に必ず「Ⅱ」を履修するようにしてください。

Q6: 「英語中級Ⅰ」のみ修得していますが、音トレ開設の「実用英語(中級)」を取りながら「英語上級」を履修することは可能でしょうか。

A: 言語芸術開設の「英語上級」は、「英語中級Ⅰ・Ⅱ」の両方の単位を修得済みでないと履修はできません。一方、音トレ開設の授業は、「中級」を履修せずに「上級」を履修することが可能かもしれません。音トレに問い合わせてください。

言語芸術開設の科目と音トレ開設の科目を組み合わせて履修する場合は、細かな条件があります。各自よく注意し、不明なことがあれば言語芸術研究室に相談してください。

『履修便覧』はとても重要です。熟読しましょう。『履修便覧』には次の二文があります。

「履修に際しては、各自が履修便覧等をよく検討し、責任を持って計画を立て、必要な単位を修得すること。」

つまり、履修計画とは最終的に自分で確認し、自分で判断するものです。
調べてもわからないことや不安な点は指導教員や各科・教員室に確認しながら、最終的には自身で責任をもって履修計画を立ててください。